



森の楽校だより

VOL. 2

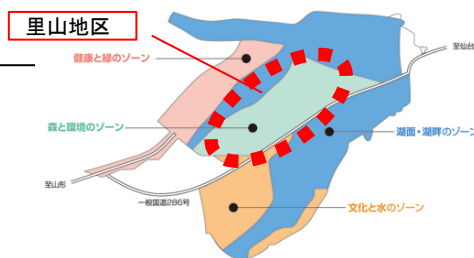


森の楽校とは？

みちのく公園里山地区は、雑木林におおわれた森のエリアです。人と自然のかかわりや、生物多様性について学び体験できる里山として、平成 26 年に開園を予定しています。

市民が身近な自然に親しみ、里山活動に気軽に参加する機会を設けるため、この度、「みちのく森の楽校」を開催します。「森の楽校」では、森に係るさまざまな活動を楽しみながら、これからの里山と人のかかわりを築いていきます。

今年度は最初の取り組みとして、森の中のコナラの木に、活動の拠点となるツリーハウスを作っています。



10月8日（土）晴れ 「森の楽校」第2回目！



2回目の活動を終えた ホストツリーです！

活動の2回目、お天気に恵まれ、作業がはかどりました。

手ノコでスギの木を切り倒し、斧でスギの皮をはぎ、2.7mの長さに揃える。黙々と作業をする中で、鳥のさえずりが聞こえ、時折、みんなの歓声や笑い声が響きます。目標に向かって力を合せています。

ホストツリーへの仮組は前回のままです。できあがりの姿をイメージしながらの活動です。

ハンモックとベンチ

樹林の中にハンモックを吊って一休み。大きな丸太は天端を削ってベンチにしました。

これも森の活動ならではのお楽しみです



10:00～ 朝礼

公園休憩所「あだこだ」にて、朝礼を行いました。今日から朝礼は、回ごとの日直さんが進行します。

今日の活動の内容を確認して、注意事項と危険予知（KY）を話し合います。

「楽しく！安全に！」をモットーに活動開始です。



前回、設置した「道しるべ」が現地まで誘導してくれます。



10:30～ スギの伐採

スタッフから、手ノコで伐採の仕方を習い、丁寧にやってみます。倒す方向を決めること、これが重要です。倒す方向には危険があります。切り倒した樹木が、他の樹木に寄りかかる「かかり木」にならないよう、周囲に気を配ります。

スギの皮むき

切ったスギの木は、すぐに皮をむきます。

伐採してから、そのまま放置しておくと、木と皮の間の水分がなくなって皮がはげにくくなってしまいますので、出来るだけ伐採したらすぐむきます。



玉切り

切ったスギの木は、枝払いをして、玉切りをして使いやすくします。



道普請

現場に至る斜面に「道」を作りました。

地表にたまった落ち葉を剥いで、地面を踏みしめて固めました。